

No.	種 別	内 容
1	基準項目	教育内容・方法
	指摘事項	(2) 教育方法等 3) 院生の基礎学力の低下を感じている教員の意見や、授業評価アンケートの結果等から理解度向上のための工夫が望まれる。
	評価当時の状況	修士課程の授業は一般に少人数でなされるので、授業を行っている教員自身が学生の講義に対する理解度を直接判断できる場合が多いようである。しかし、基礎学力が不足している学生が多く、十分な教育効果が得られていないと感じているとの感想が多くの教員から聞かれる。各教員は教育効果を高めるにはどのような教育方法をとるかに苦慮していると思われるが、的確な方策が見出されていないのが実状のようである。
	評価後の改善状況	「学生による授業評価アンケート」結果は前記 (2) 2) の通り。 学生による教員の授業評価の平均満足度は 70%をやや越えており、また学生の自己評価の平均満足度も 60%を越えている。この満足度は平成 16 年度前期に実施された「学生による授業評価アンケート」の満足度よりもかなり高い。このことから、本助言を受けて、最近 3 年間で専門科目担当の教員による教育改善がかなりなされたと言える。
	改善状況を示す具体的な根拠・データ等	
	別添 資料 4「大学院授業評価アンケート（平成 20 年度前期）」参照	
	<大学基準協会使用欄>	
検討所見		
改善状況に対する評定	1 2 3 4 5	